

平和の尊さを未来へつなぐ学び

10月15日、16日の2日間、修学旅行で6年生が広島を訪れました。世界に名を刻む原爆ドームや平和記念資料館、そして多くの人々が静かに祈りを捧げる広島平和記念公園。子どもたちは、目に映る風景の一つひとつから、戦争の悲惨さと平和の尊さを肌で感じ取っていました。戦後80年という節目の年を迎える今、平和について考えることには、いっそう深い意味があります。戦争を体験した世代が少なくなる中で、私たちは「語り継ぐ責任」と「考え続ける使命」を引き継いでいかなければなりません。平和学習は、単に過去の出来事を学ぶことではなく、今をどう生き、これからの社会をどう築いていくのかを考える大切な学びなのです。

そこで、6年生は広島修学旅行での学びを深めるため、6月に社会見学でピース大阪を見学し、1トン爆弾によって焼け野原になった大阪の街の様子を目撃する等、大阪大空襲による戦争被害について知りました。10月には最終の事前学習として広島原爆のパネル展示、被爆体験伝承者の森河さんによる伝承者講話を行いました。教科書や映像では伝わりきらない“生きた言葉”を聴く子どもたちの眼差しは真剣で、中には涙を流す子どももいました。広島では平和記念資料館の見学、平和記念公園での碑めぐり、平和セレモニーを行いました。気づいたことを熱心にメモにとりながら記憶に残そうとしていた姿が素晴らしかったです。

「平和」とは、単に戦争がない状態を指すのではなく、互いの違いを認め合い、思いやりを持って生きることでもあります。今の社会では、国や人種、考え方の違いによって争いが起こるニュースが絶えません。そんな中で、子どもたちが「平和をつくる力」を身につけていくことは、これからの時代を生きるうえで何より大切なことです。戦後80年という節目に、私たち大人も改めて問い直す必要があります。「自分は日々、平和のためにどんな行動をしているか」。大きなことではなくても、身近な誰かにやさしい言葉をかけること、争いの芽を見過ごさずに話し合うこと、自然や命を大切にすること、そうした一つひとつが、平和への一歩になると信じています。

広島で見た「原爆ドーム」は、崩れた姿のまま静かに立ち続けています。それは、人間の過ちを責めるためではなく、「二度と同じことを繰り返さない」という誓いを私たちに問いかけているのだと思います。子どもたちがその問いを受け止め、未来に希望を持って生きていけるように、学校としても平和学習を大切にして、4つの力を高めていきたいと思います。そして、そこから芽生えた小さな平和の心が、やがて周りの人へ、地域へ、社会へと広がっていくことを願っています。

校長 清水 高志



「平和を学び 全力で楽しみ 思い出をつくろう」というテーマで、広島へ修学旅行に行ってきました！



11月の行事予定

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
	文化の日	体重測定 (5・6年)	全校集会 880万人訓練 (10:00～) プロジェクトMT② (6時間目) 体重測定(3・4年)	体重測定 (1・2年)	運動会前日準備	運動会
9	10	11	12	13	14	15
	代休	運動会予備日	Birthday メッセージ集会 クラブ活動	三稜中学校 部活動体験 (6年) 社会見学 (5年読売新聞)	学校に行くDAY 見守るDAY 栄養指導 (6年)	南大阪 子ども 民族 音楽会
16	17	18	19	20	21	22
	全校朝会	区交歓音楽会 (大空小) 図書館見学 (2年)	全校集会 芸術鑑賞会 (11:00～)		秋のフェスティ バル (1・2年)	
23	24	25	26	27	28	29
勤労 感謝 の日	振替休日	ふれあいフェス ティバル(5時間目)	全校集会 地域別見守り帰宅 振替日(徴収金) 国際クラブ	ふれあいフェ スティバル予備日	校内研究授業 (3年未来)	
30						